

サクラスミレ *Viola hirtipes* S.Moore

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 1、総点 11。温帯域の草地性植物で、愛知県では個体数が少ない。

【形態】

多年生草本。地上茎はなく、葉は束生し、葉柄はほぼ直立して長さ 5~15cm、下部に開出する白色の軟毛があり、葉身は三角状長卵形、花時に長さ 3~6cm、先端は鈍頭、基部は心形、辺縁には鈍鋸歯がある。花期は 5 月、花柄も直立して白軟毛があり、高さ 7~12cm、花は淡紅紫色で日本産スミレ類では最も大きく、花弁は 5 枚で長さ 15~20mm、凹頭または円頭、側弁には毛があり、距は長く 7~8mm ある。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根 (村松正雄 15119, 1994-5-3)、3 東栄 (小林 36922, 1992-5-4)、4 津具 (芹沢 546601990-4-29)。1 富山、5 稲武からも記録されている (小林 2006)。

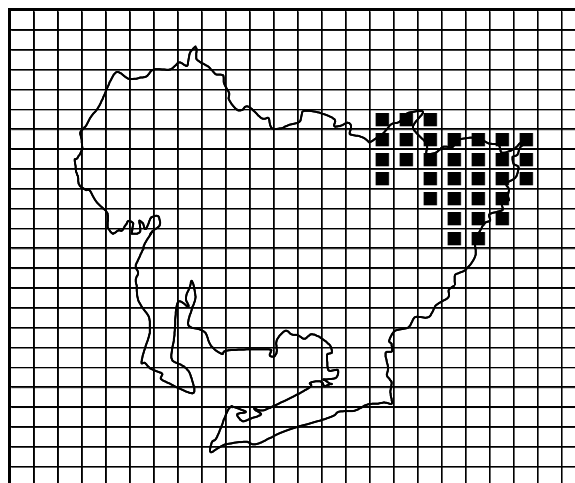
【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州。

【世界の分布】

日本、朝鮮半島、中国大陸東北部、ウズベキスタン。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の草地や明るい林内に生育する。

| | 山地 | 丘陵 | 平野 | 海浜 |
|-----|----|----|----|----|
| 森林 | ○ | | | |
| 草・岩 | ○ | | | |
| 湿地 | | | | |
| 水域 | | | | |

【現在の生育状況／減少の要因】

点在するが、どの場所でも個体数は少ない。採草地が減少し、落葉広葉樹林内も低木やササ類が繁茂して、全体的に衰退傾向にある。

【保全上の留意点】

草地の保全が必要である。山地の尾根部にある草地は防火帯としても重要であり、草刈りや火入れを行って草地状態を維持する必要がある。

【特記事項】

和名は、淡紅色の大きい花をサクラに例えたものである。

【引用文献】

小林元男. 2006. 北設楽の植物 p.60, 171. 愛知県林業試験研究推進協議会, 新城.

【関連文献】

保草本Ⅱ p.59, 平草本Ⅱ p.246, 平新版 3 p.218.